

# はんだ

No.205  
2019.2.1

## 市議会だより



- 一般質問、11人が市政を問う! P.2~5
- 12月定例会審議結果 P.6・7
- 多文化共生社会の推進に関する条例(案) についての意見募集 P.7
- 総務・建設産業委員会の中間報告 P.8
- 議会事業評価結果 P.9・10

表紙写真/産業まつり 大縄跳び大会に  
半田市議会チームも参加

# 市政を問う

## 一般質問

12月定例会における市政に関する一般質問は、12月4日、5日、6日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

\* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページに掲載、もしくは半田図書館・亀崎図書館に設置してあります。ご利用ください。



公明党  
山本半治

### 新生児の聴覚検査

**問** 新生児の約千人の内、1人から2人は、耳の障害を持って生まれてくると言われており、発見が遅れることで、その後の言語能力やコミュニケーション能力に問題が生じる可能性があります。すべての新生児が聴覚検査を行うべきだと思いますが、任意である聴覚検査の推進を、半田市はどのように行っていますか。

**答** 母子健康手帳交付時に、聴覚検査の必要性を説明しています。

**問** 新生児聴覚検査の受診状況と要検査件数をお尋ねします。

**答** 平成29年度、愛知県半田市は921人中873人約95%と高く、要検査は11件でした。

**問** 半田病院での新生児聴覚検査の受診状況をお尋ねします。

**答** 平成29年度、107人中92人約86%です。半田市内の産婦人科では、新生児聴覚検査をセット健診として、すべての新生児に聴覚検査を行っている病院があります。半田病院でも行えないでしょうか。

**答** 半田病院長と話し合っています。

### 小中学校体育館へのエアコン設置

**問** 参議院予算委員会では石田総務大臣から自治体負担が、実質30%である「緊急防災・減災事業債」は避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置に活用できるとの発言がありました。半田市では是非、活用すべきと思いますがどうですか。

**答** 普通交付税の算定の仕組み上、確実な財政支援が見込めるものではないので積極的な活用については考えていませんが、今後は学校施設の更新計画を策定する中でエアコン設置を進めていきます。



創造みらい半田  
中村宗雄

### 半田市の任期付き職員および民間人材の活用

**問** 平成26年総務省通知は、各自自治体に対し任期付き職員制度の検討を求めましたが、半田市はどのように対応しましたか。

**答** 新たな対応の必要性が無いと判断しました。

**問** 平成30年4月時点での任期付き職員の配置状況は、どのようになっていますか。

**答** 全職員数1,410名で任期付き職員は256名となります。

**問** 半田市における任期付き職員以外の民間人材の活用状況は、どのようになっていますか。

**答** IT化など長期間にわたる高度な行政課題に対して、専門性を有する人材の確保をするため必要とされる民間経験者の採用を行っています。

**問** 今後、従来の常勤職員体制で解決できないと考えられる行政課題や市民ニーズについて、どのように考えますか。

**答** 高度化する情報システムや在住外国人増加への対応、観光を含めた産業振興、環境保全、公共交通の充実などが考えられます。

**問** 半田市議会会派「創造みらい半田」として、民間人材を活用した実効性のあるワンストップの中小企業支援事業である「エフビズモデル」の来年度の予算化を求めましたが、なぜ、予算計上を見送ったのですか。

**答** 半田商工会議所等も「エフビズモデル」が実施する売り上げ向上に重点を置いた相談について対応しているため、新たに「エフビズモデル」を導入する際は主に半田商工会議所と意見交換を行い検討していきます。

**問** 民間企業のITの専門家が期間限定、無償で自治体職員として派遣される取組みである「コード・フォー・ジャパン」の活用をなぜ半田市はしないのですか。

**答** 専門性の高い民間人材の活用は、職員のモチベーションを下げるデメリットがあるので、今後とも職員の資質向上に努めます。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)





日本維新の会・無所属連合  
中川 健一

### 人と動物が共生する 社会の実現へ向けて

**問** 半田市内の犬や猫の殺処分現状はどうなっていますか。

**答** 愛知県動物保護管理センターの施設において平成29年度に、犬10頭、猫45匹が殺処分されています。

**問** 市役所は殺処分問題に対してどのような計画と施策がありますか。

**答** 半田市役所独自の計画はありません。愛知県動物愛護管理推進計画に基づき、愛知県動物保護管理センター知多支所と協力や情報交換をして啓発等を行っています。

**問** 愛知県動物保護管理センターには迷い犬を探すホームページがあります。県と協力をしているとのことですが、市役所のホームページは県とリンクをしていますが、リンクは県とリンクをするようにします。

**問** 動物愛護週間に講演会を開催するなど具体的な取組みはしていますか。

**答** 環境省から配付されたポスターを掲示している程度で、具体的な啓発活動はしていません。今後はイベント開催などに取組みます。

### 市役所は動物愛護団体を応援する気があるのか疑問

**問** 東海市には三つも地域ねこ団体がありません。半田市に一つだけあった地域ねこの会は平成29年3月に解散しました。半田市役所の市民活動支援の方法に問題があると考えますがいかがですか。

**答** 一生懸命やりましたが、地域との合意が必要であることなど問題があり、手を上げて頂けなかったと言っています。地域ねこ活動のことで、獣医師会とは連携をしましたが。

**問** 特別に協力をお願いしたいことはありますか。今後は連携を図っていきます。

**答** 猫の不妊去勢手術の補助金制度が東海市や名古屋にはあります。半田市も導入すべきと考えますがいかがですか。

**問** 民間の公益財団法人動物基金の補助金制度を活用して、地域ねこ活動の支援をしていますか。

**答** 動物基金の補助金制度を活用して、地域ねこ活動の支援をしています。



志民ネット  
小出 義一

### 新しい学習指導要領が示す 小中学校の授業改善

**問** 学習指導要領が示す授業改善をどのように捉えているか伺います。

**答** 子ども達が豊かな人を実現するための授業改善で市内全ての学校で実践していきます。

**問** どのような教育理論によるものですか。

**答** アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善で、「主体的・対話的で深い学び」を実現するものです。

**問** この授業で教師の役割や特徴は何ですか。

**答** 教師が一方的に教えるのではなく、子ども同士が疑問や興味を追求できる授業を目指します。子ども達を「深い学び」に導くために何が重要とお考えですか。

**問** 学習課題の設定や、単元構成の工夫、振り返りの場面の充実が大切だと考えています。

**答** 新たな取組みにあたって、教師も勉強が必要だと思いますが、いかがですか。

**問** 外部講師の指導を受けます。また教育委員会として、各校の指導計画、評価の取組みなどに指導助言をしていますか。

**答** 大きく教育が変革される機会ともなると考えます。教師の研修には必要な予算措置をしてほしいですが、いかがですか。

**問** 研修の状況を踏まえ、必要があれば対応していきますか。

**答** 市内全校ではコミュニケーション・スクールの推進もあり、実施時期が重なりますが、いかがですか。

**問** 生徒が主体の授業の実現には、学校・地域・家庭との連携が重要だと健全な学校運営に繋がっていきますか。



日本維新の会・無所属連合  
竹内 功治

### たばこの分煙による 社会共生

**問** 国は健康増進法の一部を改正し、たばこの分煙を推進すると考えています。この内容をどのように捉えていますか。

**答** 受動喫煙を防ぐため、施設や場所ごとに禁煙措置や喫煙所の設置による分煙を推進していきたいと考えています。

**問** たばこは価格の約63%が税金であり、その内の約43%が市に入る税金となっています。決算の状況を伺います。

**答** たばこ税の決算について、昨年度は約8億4,200万円です。

**問** 一部の公共施設では屋外に喫煙所があり、喫煙者の環境は悪く、非喫煙者に副流煙の心配があります。このような喫煙所の整備にたばこ税を使用するなど、たばこ税をお互いに納得できる目的税にしてはどうですか。

**答** 現在のたばこ税は市民税と同様に特定の事業への使い道が決まっています。一般的な財源です。

**問** 今後特定の事業に充当する目的税への変更の考えはありませんか。

**答** 分煙の推進やポイ捨てなどのマナー改善のためには路上喫煙禁止条例を制定して、路上喫煙禁止区域と喫煙所を設置しながら啓発活動をしてはどうですか。

**問** ポイ捨ては環境保全条例で禁止しており、分煙は「公共施設等における屋外喫煙所設置のためのガイドライン」を定める予定のため、条例の制定まで考えていませんか。

**答** たばこを禁煙するための取組みは必要ですが簡単にはいかないと聞きます。それならば非喫煙者の受動喫煙から喫煙者の健康等を考えて、浸透してきた加熱式たばこへの変更に誘導も一つの施策ではないですか。

**問** 加熱式たばこも少量とはいえ健康被害となる成分がありますので、今後も禁煙するための施策を取組む考えですか。

**答** 非喫煙者と喫煙者がお互い快適に共生できる社会づくりをどのように進めていきますか。

**問** 喫煙者の禁煙支援や副流煙の害等の正しい知識の普及をしながら受動喫煙の防止を進めますか。









創造みらい半田  
鈴木幸彦

### 市民はまちづくりのアイデアマン

**問** 市民の声は行政運営の道しるべとなりますが、市民がまちづくりに対し、意見が言える機会は何がありますか。

**答** 2年に一度の市政報告会、市長への手紙、計画案に対する提案や意見を記するパブリックコメント、市民アンケート等があります。

**問** 市民の意見やアイデアは、市政にどう反映されていますか。

**答** すぐに改善可能なものは迅速に、中長期的に取組むものは、3か年実施計画等に盛り込むようにしています。

**問** サイレントマジョリティ「声なき声」の意見こそ大切で、しかし今の仕組みでは、反対を唱える大きな声は市に届きませんが、賛成の声を拾うことはできません。計画等に対し、賛同してくれる多くの方の声を聞き漏らしていませんか。

**答** 賛同意見は、行政運営をする上で心強い

ものです。今後、意見の収集方法を考えます。

**問** まちづくりの設計図となる第7次総合計画の策定が次年度から始まります。市民生活に直結した計画をつくるには「多くの市民の声」がなくては射た内容になりません。市民の声をどのように取込むつもりですか。

**答** 第6次策定時にも公募で市民の方17人に参加していただきました。今回は、公募市民に加え、無作為抽出といった手法でより多くの市民の方にご参加いただき、多方面からのご意見を集約し、市民の求める内容にできるだけ合致した総合計画にしたいと考えています。

**問** 市民からの意見を集める作業は手間がかかりますが、市民はたくさんアイデアを持っています。意見が言える、言ったことに市は聞く耳を持つてくれる、こんな当り前の環境が整っていれば若い世代からも半田は選ばれるまちになるのではありませんか。

**答** その通りだと思います。今後は市民の方により多くご参加いただける仕組みを研究していきます。



創造みらい半田  
岩田玲子

### 女性が活躍しやすい半田市を

**問** 半田市にとって女性の活躍は必要であると考えていますか。

**答** 女性の活躍は重要であると考えています。

**問** 働く第一歩を踏み出せるようなセミナーや相談事業を更に充実させてほしいと考えていますが、いかがですか。

**答** これから考えていきたいです。

**問** 働く第一歩を踏み出せる環境整備の観点から、ハローワークに子どもを連れて行けるようなスペースを設けてほしいと考えていますが、いかがですか。

**答** ハローワークの所長や知多五市五町の会議の中で要望を伝えました。女性活躍しやすい環境整備には、ファミリーサポートの充実が欠かせません。現状、依頼会員は増えており、援助会員が足りていません。援助会員が増えるよう更なるPRをし、環境整備の充実を図ってほしいと考えていますが、いかがですか。

**答** 需要の増加に対応し、援助会員の増加に努めていきます。

### 市営駐車場を問う

**問** 今の利用形態では上限がなく、利用しにくいと考えます。商業施設と市役所施設とセットで使用する方への上限設定を設けた料金形態や、夜間料金設定も必要と考

**答** 4月にはバスポートセンターの開設もあり、状況を見据える中、料金設定や利用の在り方を協議していきます。

**問** 今は利用形態を示す看板はなく、わかりやすい看板の明示が必要と考

**答** 4月以降の状況を見ながらより良い判断をしていきます。



公明党  
山田清一

### 野良猫の地域トラブルを減らすために

**問** 地域猫活動推進のための行政、地域、ボランティアの役割をどのように認識していますか。

**答** 行政の役割は、「地域における活動を支援し把握すること」であり、地域の役割は、「主体となつて活動を行うこと」、ボランティアの役割は、「地域が行う活動へのサポート・助言を行うこと」と考えています。

**問** 野良猫対策の講演会の開催やパンフレット等による普及啓発・情報発信はどのように行いますか。

**答** 地域猫活動を実践している方などを講師とする勉強会の開催、他市町やボランティア団体の活動を紹介するチラシを作成するなど、地域猫活動が市民に身近なものとなるよう努めます。

公益財団法人の助成制度を活用し、不妊去勢手術を支援していきます。

### 新たなICTの活用

**問** スマートフォンやパソコンで利用可能な電子母子手帳等を導入してはどうですか。

**答** 「はんだっこネット」と電子母子手帳が連携できるよう、導入に向けた協議を始めています。

**問** 心の健康を簡易チェックするメンタルチェックサイトを導入してはどうですか。

**答** 「地域包括ケアシステム推進協議会」で、より簡易に認知症をチェックできるサイトの導入に向け協議・検討します。災害情報メールの導入についてはどうですか。



**審 議 結 果**

平成30年第6回定例会（12月4日～12月14日）

（ ）内は議案の補足説明です。

## ■全会一致の案件

議案 番号等	議 案 名	議決結果
議案 64	平成30年度半田市一般会計補正予算第4号 （ <b>総務</b> ：人事院勧告による職員給与等の増額と人事異動に伴うもの等 <b>文教</b> ：児童手当の対象者増加に伴う費用、保健センター空調設備改修費用、幼稚園・小中学校の教室に空調設備設置する費用、半田球場の防球ネット設置費を予算化等 <b>建設</b> ：州の崎1号線他4路線計画前倒しで道路修繕するもの。他1件）	原案可決
議案 65	平成30年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計補正予算第1号 （人事異動により職員給与等を減額するもの）	原案可決
議案 66	平成30年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 （人事院勧告などにより職員給与等を追加するもの）	原案可決
議案 68	平成30年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第2号 （人事異動により職員給与等を減額するもの）	原案可決
議案 69	平成30年度半田市立半田病院事業会計補正予算第3号 （入院患者数増による医業収益の増額と人事異動に伴うもの等）	原案可決
議案 70	平成30年度半田市下水道事業会計補正予算第1号 （人事異動による職員給与等の減額と雨水排水機場修繕工事を追加するもの）	原案可決
議案 71	半田市議会議員及び半田市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の制定について （公職選挙法改正による政策ビラ作成の公費負担）	原案可決
議案 74	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について （人事院勧告による職員給与等の増額）	原案可決
議案 75	半田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について （介護保険法の改訂に伴う条例制定）	原案可決
議案 76	半田市監査委員の選任について （任期満了に伴い引き続き西川承氏とするもの）	同意
諮問 2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて （任期満了に伴い岩田都母恵氏、尾前宣男氏、澤田繁見氏、市野恵功氏、秦慶隆氏とするもの）	答申

## ■その他の案件

議案 番号等	議 案 名
報告16	専決処分の報告について（職員が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告17	専決処分の報告について（職員が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告18	専決処分の報告について（職員が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告19	専決処分の報告について（道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
	常任委員会の中間報告について
監査 報告2	定例監査（企画部、総務部、市民経済部、福祉部、健康子ども部、会計課）





総務委員会  
委員会活動報告  
(要旨)

調査テーマ

「半田病院の経営形態と役割について」

今年度当初まで、半田市は新半田病院建設時に、現在の経営形態（地方公営企業法一部適用）から地方独立行政法人化を含めた最適な経営形態を検討するとしており、当委員会は、半田市民に最適な経営形態は何か調査研究しました。半田病院建設場所の変更に伴い設置された「常滑市・半田市医療提供体制等協議会」は、10月には一定の方向性を示すため、その前の9月定例会で委員会の中間報告を行いました。

1 半田病院と常滑市民病院の経営統合をすること

半田病院でも医師不足は深刻な課題であり、診療科によっては非常勤医師のみの対応となつています。

一方で働き方改革により、今後医師の労働時間が制約をされ、勤務医の地域偏在、診療科偏在がますます進むことが予測されています。

その結果、半田病院でも救急体制の縮小や手術件数の抑制、当直明けの外来休診など、患者サービス低下を招き、これまでの医療を守る事ができなくなる可能性もあります。更に新半田病院と常滑市民病院が近接をすることで、診療圏の重なりが生じ、医療機能や医療資源の無駄が生じる可能性ががあります。そこで、半田病院と常滑市民病院を経営統合することにより、重複する診療科を再編し、救急科など負荷の高い

診療科を増員するなど限られた医療資源を集中化することにより効果的な医療供給体制を目指すことが可能です。

2 半田病院を地方独立行政法人化すること

地方独立行政法人（非公務員型）とは、地域で公共性の高い事業を効率的に行うため、地方自治体から分離・独立して運営する法人のことです。これまでの経営形態や一部事務組合（企業団）による経営と比較して、地方独立行政法人化することにより、地方公務員法の制限を受けずに必要な人材を確保でき、医療の質・サービスの向上に繋がります。また経営の自由度が増すため、多様な契約手法の導入等により効率的で透明性の高い病院経営が実現できます。

3 常滑市をはじめとした阿久比町、南知多町、美浜町、武豊町と半田病院の役割分担に関する議論を早急に始めること

建設産業委員会  
委員会活動報告  
(要旨)

調査テーマ

「ごみ減量に対する抜本的な取組みについて」

平成34年に、半田市を含む2市3町の構成市町で、ダイオキシン対策と国の減量目標の方針に基づき、知多南部広域環境センターが供用開始を予定しています。これにより、年間2億円の費用を削減することができそうです。

しかしごみ処理費用は、各市町が家庭系ごみ量の排出割合に応じて負担をするため、市民一人1日当たりの排出量を578gから510g以下にする必要があります。そのため、家庭系ごみの中で最も多い割合を占める生ごみの減量と、約75%もの資源が含まれている不燃ごみを確実に資源化していくことが大幅なごみ減量につながると、当委員会は考えました。そこでごみ減量の先進地である、東京都西

東京市、石川県金沢市、京都府京都市を視察、調査し、委員会での議論を経て、以下の通り、提言いたします。

1 市民の意識を変え、廃棄物の減量及び処理に関する条例を認知してもらうこと

一、ごみを半減させることを目標とした行動指針や取組みのガイドブック等を作成し、市民の責務を広く周知すること。

一、どんな場所にも出向き、市民説明会や出前講座を充実させ、丁寧に時間を惜しまず説明すること。  
2 生ごみを減らす実践的な施策として  
一、「生ごみたい肥化日本一」などのスローガンを掲げ、循環システムを構築するなどして、生ごみのたい肥化を更に推進すること。  
一、生ごみの80%は水分と言われており、生ごみの乾燥がごみ減量に絶大な効果がある。補助制度の活用を促し、

家庭用生ごみ処理機的全戸普及を目指すべく促進を図るPRを充実すること。

一、食品ロス削減に取り組むこと。京都市の「生ごみ3キリ運動」のような、具体的手法を用いながらPRしていくこと。

3 ごみを資源に変える環境を整備すること  
一、公設の資源回収拠点を市民に利用しやすい場所に設け、利用しやすいよう時間設定を工夫すること。  
一、自治区にいつでも搬入可能な資源回収拠点を設けることができよう、積極的に働きかけ、協力すること。  
一、剪定枝の資源化をすること。  
一、食料缶などを資源回収品目として見直すこと。

循環型社会が構築された半田市を後世へ残すためにも、市民一人が毎日65g、卵1個分のごみ減量をする意識を育てる施策を行ってください。



## 総務委員会所管分

個別施策名	自治区の組織力強化
問題提起	①自治区加入促進関連事業、事務事業の自己評価が全てCであり、成果もない。小学校区単位のコミュニティに再編するなど抜本的な見直しが必要である。
市長からの回答	①自治区とコミュニティ推進協議会の役割が異なるため、再編は困難。役員の担い手不足解消など地域の課題解決のため、33あるコミュニティ推進協議会を13小学校区単位のコミュニティ組織への再編を進めている。

市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

## 事業評価を行いました

平成30年9月に行った事業評価の審査結果の一部を公表します。

個別施策名	人材の確保（半田病院）
問題提起	①医師・研修医確保、看護師不足の解消。医師を確保できる環境や、看護師の業務負担を軽減し職務に専念できる環境づくりがされていない。
市長からの回答	①平成30年4月から教育研修運営委員会を立ち上げ改善検討を進めている。看護師確保対策は、平成27年度387人に対し、平成30年度415人と効果が出てきている。継続して努力していく。

個別施策名	長期的かつ安定的な財源の確保
問題提起	①財源確保での収納率向上は高く評価するが、公共施設等の老朽化が進むなか、まちづくり活性化による財源確保が厳しい。
市長からの回答	①資金の管理運営の指針や基準を見直し、安定した新たな財源確保に取り組む。私有地借地料や固定資産税減免の見直し、給与所得者の特別徴収者を増やす取組みをしている。

## 建設産業委員会所管分

個別施策名	3Rの普及・啓発
問題提起	①ごみに資源が多く含まれているため、対策事業が足りていない。 ②利用しやすい資源回収拠点を設置する。
市長からの回答	①不燃ごみの資源の混入率を調査し、3Rアドバイザー会議等により、現状をお知らせするなど啓発に努めており、地域での集団資源回収の日程や、スーパー等での資源回収についてホームページ等での情報提供を行うことで更なる徹底を行っていく。 ②公共資源拠点での資源回収を試行する。

個別施策名	3R活動の推進
問題提起	①生ごみ処理機等の全戸普及をめざすこと。 ②ごみ減量のわかりやすい説明会の開催。 ③剪定枝の資源化。
市長からの回答	①更なる普及を目指しPRしていく。 ②有料化に向けた説明会の中で、ごみ減量に努めていただくようわかりやすい説明を行う。 ③平成31年開始予定。

個別施策名	廃棄物の適正処理
問題提起	①市民に見える化する。 ②基準世帯数内のごみステーションの整備。 ③不適切な排出を防止する対策。
市長からの回答	①3Rアドバイザー会議や有料化に向けた地域意見交換会等の機会にごみ減量の必要性や、具体的な減量方法をPRしていく。 ②地域と協力しながらステーションの整備に努めていく。 ③家庭系ごみ有料化に伴う不適正排出の防止策について検討していく。

個別施策名	老朽化建築物・空き家の適正管理の促進
問題提起	①危険な構造物への更なる補助制度。 ②通学路や避難路の適正管理の強化。 ③危険建築物所有者に適正管理を促す。地域の民生委員や見守りの人の協力。
市長からの回答	①補助金制度の見直しを行う。 ②通学路のブロック塀は、所有者に適正管理依頼と補助制度の説明を実施する。 ③空き家等の情報を得た際は、現地確認後、所有者へ適正管理の依頼を行う。民生委員等には協力依頼の実施を検討する。

文教厚生委員会所管分

個別施策名	ひとり親家庭への支援の充実
問題提起	①実態を把握し、必要な支援を充てる。 ②支援策にかかる具体的かつ、きめ細やかなガイドブックを作成する。 ③相談体制の強化。
市長からの回答	①アンケート調査を実施し、ニーズを把握して、個別に支援する。 ②サポートブックを作成し、対象者全員に配付する。 ③就業等で相談できない方に対し、メール相談を開始する。なお事業開始の周知は、児童扶養手当の額改定通知にチラシを同封する。

個別施策名	生活習慣病等予防の推進
問題提起	①メタボ該当者への意識改善を行う。 ②市民の健康診断の受診状況を把握。 ③健康マイレージの普及のため、特典を魅力的なものにする。
市長からの回答	①国保加入者で特定保健指導の利用者に血管年齢測定を増やし、新たに生活習慣病予防のリーフレットを作成する。 ②満39歳の方へ健康診断受診状況のアンケートを実施する。 ③国保加入者及び後期高齢者の検診受診者に対し、特典を上乗せする。

個別施策名	地域課題の学習及び交流の場としての活用
問題提起	①各公民館に必要と考える内容を示し、その事業メニューの実施と予算を配分する。 ②市が考える地域課題の学習の場としての公民館の役割を説明する。
市長からの回答	①公民館長会議等で明確に説明し、必要と考える役割を達成する事業の実施を促す。 ②今までも公民館で、ふくし井戸端会議等を開催し、地域課題解決の場を設けて地域住民の学習・交流を行ってきたが、今後も地域住民の課題解決の場とする公民館の役割を説明していく。

3月定例会の予定

2月20日(水)から  
3月25日(月)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。

## 議会報告会を開催します

次のとおり開催しますので、ぜひ皆さまお越しください。

【日時】平成31年3月28日(木) 午後7時～

【場所】アイプラザ半田 研修室

【内容】3月定例会上程議案の概要・結果、意見交換等



あとがき

平成最後の新年を迎え、新たな決意で新年をスタートされていることと思います。

広報委員会では、本年から、市民の声を紙面に活かす取り組みを行っていくと考えています。

議会の中から外に出て、市民の方々から声を聞かせて頂き、皆様から親しまれる「はんだ市議会だより」を目指してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



広報委員会

- 委員長 鈴木幸彦
- 副委員長 中川健一
- 委員 山本佳代子・小出義一  
岩田玲子・山本半治

編集・発行 半田市議会

〒475-8666  
半田市東洋町2-1  
☎0569-0694  
FAX 0569-7185  
E-mail: gjij@city.handa.lg.jp